

# だれもが大切なひと

## — 子どもの権利 —

世界には災害や紛争によって生命の危機に瀕し、貧困の犠牲になる子どもたちがたくさんいます。

ユニセフは150以上の国々と地域で子どもたちを守る活動を続けています。しかし豊かな国と思われている日本でもさまざまな困難に直面している子どもたちがいます。

途上国の子どもたちとともに地域の子どもたちに目を向け、それぞれの問題について考えたいと思います。



© UNICEF\_NYHQ2012-1077\_Shehzad Noorani

# 8.23 土 10:30～16:30

( 12:40～13:30 昼食休憩 )

[ 会場 ] 大阪中央公会堂 大会議室  
(〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-27)  
地下鉄御堂筋線/京阪電鉄「淀屋橋」駅下車  
① 番出口から徒歩約5分

[ 定員 ] **80名** 定員になり次第締め切ります。

[ 参加費 ] **無料**

[ 申込方法 ] 大阪ユニセフ協会へ電話、FAX、メール

[ 連絡先 ] **大阪ユニセフ協会**

〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-4-1 OCAT 2F  
TEL : 06-6645-5123 FAX : 06-6645-5124  
E-mail : un@unicef-osaka.jp

### 1 10:35～11:35 基調講演

#### 買われる子どもたち

大久保 真紀(おおくぼ・まき) 朝日新聞編集委員

1987年朝日新聞社入社。盛岡、静岡両支局を経て、東京本社社会部、西部本社社会部などに在籍。2002年に編集委員になり、06年から鹿児島総局次長を約2年務めた後に現職。

著書に、『買われる子どもたち—無垢の叫び』(明石書店)、『こどもの権利を買わないで—ブンとミーチャのものがたり』(自由国民社)、『明日がある—虐待を受けた子どもたち』(芳賀書店)、『児童養護施設の子どもたち』(高文研)など。



© UNICEF\_NYHQ2004-0734\_Holmes

### 2 11:40～12:40 講演

#### 被虐待から考える子どもたちの守り方

上原 よう子(うえはら・ようこ) NPO法人 虐待問題研究所 代表 虐待防止活動家

1982年生。京都府京丹后市出身。大阪日日新聞記者。3児の母。自らの人生を重ねて虐待防止活動をライフワークとしている。講演活動のほか、虐待防止勉強会やママ達の交流会を主催。主な著作に「虐待生活～私が自由を手に入れるまで～」(2006文芸社)、「虐待防止メッセージDVD—幸せの扉を開く七つの鍵」(2012ありがとう出版)などがある。

### 3 13:30～14:30 パネルトーク

#### 地域の中の子ども育て

大阪府小児救急電話相談員・豊能広域こども急病センター看護師 竹下 京子

元保育士・親子関係メンタルセラピスト つねよし ちあき

子ども支援ボランティア 前田 幸一郎

虐待防止活動家 上原 よう子



© UNICEF\_NYHQ2009-0248\_Estey

### 4 14:40～16:30 ワークショップ

#### 新聞記事から見える子どもたち — 子どもの権利条約カードを使って —